

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所として(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童様が楽しめる活動を考え提供できている。	活動内容が固定化してしまわないようにプログラムを工夫している。	支援の中に専門的な知識を反映し、より一人一人に合った支援を提供していく。
2	児童様にとって、学校や家庭とは違う安心できる生活環境となっている。	学校での生活を終え、心身ともに疲労を感じている姿に対して、のんびりと過ごせる場所の提供を心がけています。	放課後の限られた時間の中で、子ども達の気持ちに寄り添い、子ども達にとってより良い支援ができるようにしていきたい。
3	言語聴覚士による専門的な支援を実施できている。	ニーズのあるお子様へ、個別の言語訓練を実施しています。	次年度は、理学療法士を雇用し、運動機能発達に向けた機能訓練を実施していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発管を中心にチームワークよく支援を提供することの課題がある。	児発管・支援員の経験やスキル、知識が不足していること。日頃からのコミュニケーションが足りていないこと。	それぞれが互いに立場や役割を意識して、改善していく努力が必要。客観的に自己評価をし、チームで支援をしていく方法を検討する。 他事業所との支援員の調整。 支援者としての姿勢を学ぶ必要がある。
2	専門的な知識が不足している。また、運営上把握しておかなければいけないことも把握できていない職員が多い。	自発的な学びの少なさ。学んでも自分の事業所の課題と比べて考えることが苦手。	社内研修の他に、社外研修を受けてその内容を研修を受けた職員が中心となって自事業所で発表するなど、学びを深め実践するスキルを高める。
3	保護者支援(保護者様同士の交流する機会)	保護者様のニーズがどの程度あるのか。また、その場を担当できる支援員が少ない事。 児発管・支援員の保護者様の気持ちに共感する力、助言の引き出しの少なさ。	どのようにすると保護者様同士が交流する場を設けられるのかを検討し、その場を担当する支援員のスキルアップを図る。 保護者支援に関する研修参加を促す。